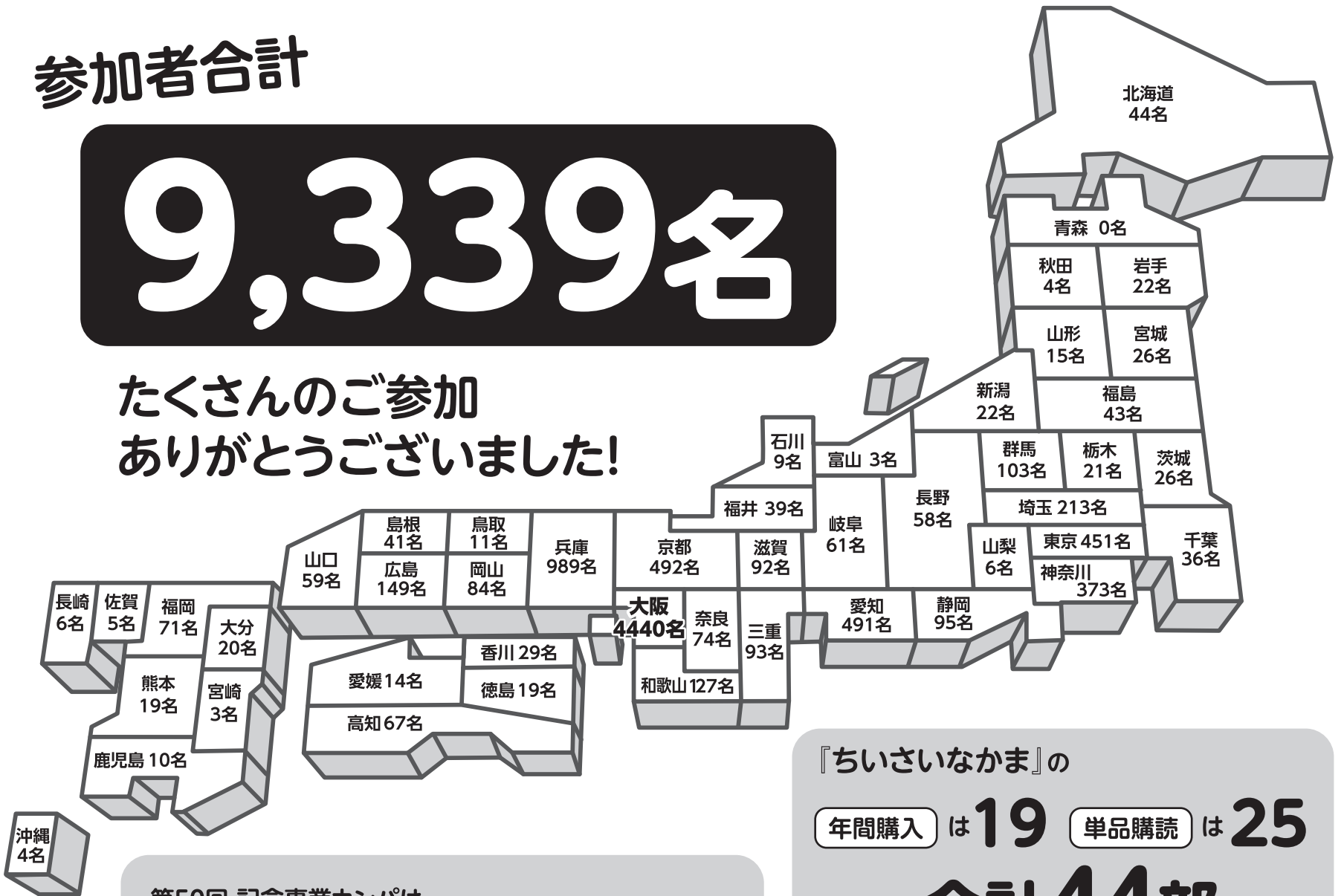


参加者合計

9,339名

たくさんのご参加
ありがとうございました!



第50回 記念事業カンパは

1,122,439円

大切にに使わせていただきます。
ありがとうございました。

次回開催地より

いりやーせ愛知!! 来年はみんなで待っとるよお〜

あいち合研実行委員長の望月彰です。

暑い大阪に集う皆さん!来年はもっと暑い名古屋で、もっと熱い仲間がお待ちしています。スタート集会には実行委員会の核となる仲間140人が結集し、準備を始めました。

わくわくあいち合研に、ぜひご期待ください!

第51回 あいち合研実行委員長 望月 彰



いいね

みんなで盛り上げよう!

Facebook

[あいち合研2019](#)

Twitter

[@aichigoken_2019](#)

Instagram

[@aichigoken.2019](#)



検索してね!



子どもたちへ 当たり前の日常を

福島県保育連絡会 鈴木 直子



第50回全国保育団体合同研究集会 大阪大会おめでとうございます。

大阪から愛知につながるバトンを受け取って第52回の合研を福島でおこないます。2020年、福島合研が開催される夏、東京オリンピック・パラリンピックが行なわれます。「復興五輪」といわれ、「復興した」福島から聖火リレーがスタートします。

福島は…2011年のあの東日本大震災の時、津波・土砂災害などにより甚大

な被害に遭いました。

さらに、原発事故による放射能汚染によって二重の苦しみを負いました。

7年5カ月経ち、未だに放射線量が高くて故郷や暮らしていたところへ帰れない人々、放射能汚染を少しでも減らそうと努力を続けている人々があります。様々なリスクと折り合いをつけながら住んでいます。その思いに添った復興になっているだろうか。

原発事故で、私たちは当たり前の日常を奪われました。震災直後の日々を「食べものもなく、物資も入ってこず、まるで戦時中のような。」という人がいました。あんな思いはもうしたくない。原発を福島(全国)からなくしたい。戦争の武器(原子爆弾)につながるすべての原子力をなくしたい。子どもたちが安心して育ち、当たり前の日常を送れるように戦争をおこさせない。

2020年、福島の暑い夏に保育・人権・平和を語り合しましょう。